

生物多様性保全のための地域の取り組み

兵庫県立人と自然の博物館

主任研究員 橋本佳延

1. 生物多様性とは？

1) 生物多様性の成り立ち

46億年の地球の歴史のなかで生命が進化の過程で獲得した状態

2) 生物多様性の定義

すべての生物の間に、“違い”がある状態

3) 生物多様性に含まれる“違い”

- 遺伝子の多様性
♪ 咲いた、咲いた、チューリップの花が…
- 種の多様性
♪ 僕らはみんな生きている…
- 生態系の多様性
♪ うさぎ追いし、かの山、小鮎釣りし、かの川…
- 景観の多様性

4) 互いに関わり合いながら生存

2. 生物多様性の喪失の危機

1) 生物大量絶滅の時代

2) 大量絶滅の要因

- 第1の危機：開発による危機
- 第2の危機：放棄による危機
- 第3の危機：外来生物・汚染物質による危機
- 地球温暖化による危機：気候変動による適応障害

3. 生物多様性の価値～なぜ生物多様性を守るべきか～

1) 一度失ったら取り戻すことができない存在

- 歴史性
- 複雑性
- 調和性
- 固有性

2) 私たちに様々な恵み（生態系サービス）をもたらす存在

- 供給サービス

- 調整サービス

- 文化サービス

- 基盤サービス

4. 兵庫県の生物多様性戦略と生物多様性施策

1) なぜ地域戦略が必要か？

2) ひょうご戦略の概要（別紙資料参照）

(1) 理念と目標

(2) 行動計画の4つの柱

3) 先進的施策

(1) 森

(2) 川

(3) ため池

(4) 希少種保全

(5) 外来種対策

4) 県下市町の生物多様性地域戦略の策定状況

5. 兵庫県下で行われている保全活動事例

1) 行政主体の取り組み

- 安室川チスジノリ
- コウノトリ放鳥

- 六甲山系植生復元
- 尼崎 21 世紀の森事業

2) 企業主体の取り組み

(1) 企業の生物多様性の国際的潮流

(2) 企業が生物多様性に取り組むことの必然性

(3) 市民にとっての企業の生物多様性の取り組みの意義

(4) 兵庫県下における企業の事例

- 工場緑地を活かした地域種の保全（大阪ガス（株）姫路製造所、住友ゴム工業（株））
- 工場敷地内でのビオトープ形成（ミツカン（株）吉川工場）
- 地域における里山の生物多様性保全活動（コープこうべ、（株）東芝 姫路工場、コカ・コーラウエスト（株）、川崎重工業（株）、関西電力労働組合兵庫地区本部・姫路地区本部、富士ゼロックス兵庫（株）、サントリーホールディングス（株）、神戸経済同友会、グローリー（株）、黒田電気（株）、旭硝子（株）高砂工場、神戸製鋼グループ全神戸製鋼労働組合連合会、東洋電機（株）、（株）カネカ、三菱重工業（株）高砂製作所、（株）TIENS JAPAN、シスメックス（株））

3) 市民主体の取り組み

- 市民活動団体は非常に活発。
- 200 団体以上の市民団体が活動を展開。
- 別冊資料はその一部を紹介